

情報サービス演習II

第8回

図書情報の探し方(2)

鶴見大学 非常勤講師
江草由佳

(国立教育政策研究所 総括研究官)

yuka@nier.go.jp

本日のお品書き

- お知らせ
- 図書情報の探し方(2)
- 第9回演習課題:図書情報の探し方(2)
 - 図書情報の検索結果画面イメージ

図書情報をさがしたい。例えば...(再)

- 鶴見大学図書館に所蔵されているかどうか
- あるタイトルの本がある(存在する)かどうか
- あるタイトルの本が現在購入できるか、値段は？
- 書誌事項はわかっているが、所蔵館を調べたい
- ある文章に関連のある本が知りたい
- ある本が神保町の古書店にあるかどうか知りたい
- ある本のレビューが知りたい
- 本の全文データを直接読みたい
- ある本の生まれた背景や与えた影響、関連する人物や事柄などを調べたい

図書情報の探し方

- 蔵書目録:OPAC *
- 国立国会図書館*
 - NDL Search
 - NDL ONLINE
- 国立情報学研究所*
 - CiNii Books
 - Webcat Plus
 - (Book Page 本の年鑑)
- カーリル*
- Book.or.jp *
 - (日本書籍総目録)
- BOOKPLUS *
 - (Book Page 本の年鑑)
- 新書マップ
- BOOK TOWNじんぼう
- amazon.com
- 青空文庫
- 国立国会図書館デジタルコレクション

*前回やった

第9回演習課題

- 演習課題を実行し、講義Webサイトから、回答用紙をダウンロードし、PowerPointで作成して、9分割印刷して提出しなさい。
 - (1)から(6)まであります
 - 課題名に: 第__回演習課題と入れなさい
 - ✕切: 来週演習開始時
- 「情報サービス演習II」、「第__回演習課題・図書情報の探し方(2)」、「時限」「学籍番号」、「名前」、「提出年月日」を忘れずに記入すること

参考：9ページをまとめて一枚として 印刷する方法(再) ※

最後

1 プリンターのプロパティ

2 9 in 1

3 OK

6 OK

プリンターの
プロパティ

※鶴見大学 402教室,403教室のパソコンでのやり方です。

新書マップ

- <http://shinshomap.info/>
- 新書だけを収録
- 連想検索
 - Webcat Plusと同様に、文章で検索できる
 - 関連ワードマップが表示される

新書マップ演習

連想検索を使う

1. www.asahi.comで適当な記事をコピー
2. 連想検索の入力フォームにペースト
3. 「検索」ボタンをクリック
4. 興味のあるワードをポインタでさしてみる
 - 例: 次のスライド → 画面イメージをPowerPointへ
5. 興味あるワードをクリックし、一覧リストをみる
6. 興味ある本をクリックし、詳細表示を見る
7. 他の記事でもやってみよう(時間があれば)

新書マップ演習画面例

The screenshot displays the 'New Book Map' (新書マップ) interface. On the left, there is a search bar with the text '大阪市港区の海遊館で、イワトビペンギン2羽が階段をピョンピョンと登って高'. Below the search bar are buttons for '検索' (Search) and 'クリア' (Clear). A sidebar on the left contains navigation options like '書棚で見るテーマ一覧' (View theme list in bookshelf), 'ヘルプ' (Help), and 'クレジット' (Credits). A list of related themes is shown, including '歴史の道歩く', '南極', 'サッカー', '東京散策', '海洋生物', '動物園・水族館', 'ベルリン', '日本の建築', '電気', and '博物館と博物館学'. A '再検索' (Re-search) button is at the bottom of the sidebar.

The main area features a circular map with a blue background and a white dotted border. The map is divided into segments by a circular ring with labels: '世界' (World), '日本' (Japan), '歴史' (History), '人' (People), '東京' (Tokyo), '時代' (Era), '家' (Home), '学' (Academy), '日' (Japan), '都市' (City), '謎' (Mystery), and '海' (Sea). The map contains several yellow dots representing search results, each with a label: '歴史の道歩く', '南極', '博物館と博物館学', 'サッカー', '東京散策', '海洋生物', '動物園・水族館', 'ベルリン', '日本の建築', and '電気'.

At the bottom left, there are font size options: '12pt', '14pt', '16pt', and '18pt'.

BOOK TOWNじんぼう

連想検索を使う

- <http://jimbou.info/>
 - 東京の神保町の古書店の古書などが検索できる
 - 連想検索
- 演習
 1. “古書データベースで検索”をクリック
 2. 「天皇」で検索
 3. 関連ワード:(例えば)「皇室」、「系譜」をチェック
 4. “再検索”
 5. 検索結果一覧を見る → 画面イメージをPowerPointへ
 6. 興味のある文献の詳細をみる

青空文庫

- <http://www.aozora.gr.jp/>
- 著作権の切れた著作物をボランティアが入力して公開しているもの
- 作家名と作品名のよみ仮名の五十音順のリンク
- 作品の全文を読めるのが特徴
- 全文の検索も可能(ただし、外部のサーチエンジンのサイト限定検索を利用)
- 演習: 青空文庫で適当な作者の作品まで辿ってみよう
 - 実際に作品のページまでいく
 - →画面イメージをPowerPointへ

国立国会図書館デジタルコレクション

- <http://dl.ndl.go.jp/> 国立国会図書館が提供
- 国立国会図書館が収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できる(収取したウェブサイト、CD/DVD等のパッケージは除く)
- 明治期から第二次世界大戦以前の著作権がクリアになった本の本文画像がオンラインで閲覧できる(注: テキスト形式ではない)
- 演習:
 1. “詳細検索”
 2. タイトル:「羅生門」、著者・編者「芥川龍之介」
 3. “詳細検索”
 4. 検索結果一覧を見る
 5. どれか一件の詳細を見る
 6. “次”などをクリックして先のページを見る
 7. →画面イメージをPowerPointへ

Amazon.com

- アメリカ版 : <http://www.amazon.com/>
- 日本版 : <http://www.amazon.co.jp/>
- オンライン書店
- レビューがある
- お勧めの本
 - その本を買った人は他にこんな本も買ってます
- 一部の本(ベストセラーなど)は本の一部を閲覧可能
 - 「なか見!検索」
- 演習 : 適当な本を検索してレビューやお勧めをみてみよう
 - 本の詳細画面(この本を買った人は・・・が見えるように)
 - → **画面イメージをPowerPointへ**

総合問題(演習課題)

- 問題: 内田儀久(うちだ よしひさ)の書いた『電子図書館』を所蔵している都内の大学図書館を知りたい。
 - どの検索サイトを使用したか
 - サイト名とURL(例:NDL ONLINE http://.....)
 - どのような検索戦略で、どうやって検索したか
 - まず、概要を知るために……
 - 検索している画面→PowerPointへ貼り付け
 - 検索結果の画面→PowerPointへ貼り付け
 - 回答